

AMED理事長賞

スマート介護プラットフォーム(SCOP)の開発

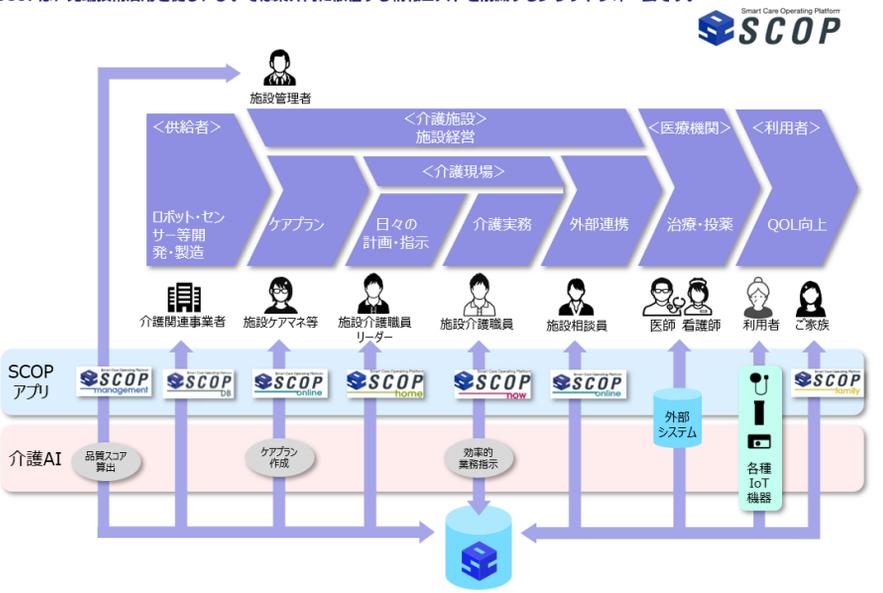
<受賞者>

宮本 隆史 (社会福祉法人善光会 理事)

<功績>

介護ロボットのメーカーの枠を超えたクラウド型介護ロボット連携プラットフォームを開発した。介護業務の効率化と質の向上が期待されている。

SCOPは、先端技術活用を促し、ひいては業界内に散在する情報コストを削減するプラットフォームです。



SCOPの全体像



SCOPの効果

<概要>

- 複数の介護ロボットの情報を一括管理し、アプリ上からの同一操作で様々な介護ロボットの使用を可能とするアプリケーションを開発し、介護機器の習熟度向上や適切なタイミングでの介助などに貢献している。
- また日々の介護記録等の情報をデータベースに集約して一覧化するアプリケーションを開発し、職員間でのリアルタイムの情報共有や引継ぎなどに貢献している。
- 開発したこれらのプラットフォームにより、介護業務の効率化と介護の品質向上にのみならず、介護ロボットの普及促進、要介護者の自立支援、介護のDX化等にも寄与することが期待されている。